

ふるさとすさき

須崎市は10月1日で、市制施行60周年を迎えました。
私たちの「ふるさと」の歴史に思いを馳せ、紐解いてみませんか。

須崎市は、黒潮流れる太平洋、ニホンカワウソが最後に確認された清流新莊川など自然豊かな美しいまちです。また、県内屈指の天然の良港である須崎港を抱え、古くから漁業の町として、また多くの物資が流通する港町として栄えてきました。

昭和29年10月1日、須崎町、多ノ郷村、浦ノ内村、吾桑村および上分村の5カ町村が合併し須崎市が誕生して以来、本年で市制施行60周年を迎えることができました。

本市は、これまで南海地震やチリ地震津波など幾度となく自然の猛威にさらされてきましたが、先人たちは困難にも負けることなく立ち向かい、復興をとげ、いまの須崎市があります。

この先人たちが築き上げてきた須崎市と、そして何よりもふるさと須崎を愛する心を、次の時代を担う世代に伝えてゆくために、これからも歩んでゆきます。

企画政策課 企画政策係

☎42・5691

昭和29年	昭和30年	昭和33年	昭和34年	昭和36年	昭和37年	昭和40年	昭和41年	昭和43年
10月	8月	3月	12月	12月	10月	3月	5月	3月
・須崎町・多ノ郷村・吾桑村・上分村・浦ノ内村の5カ町村が合併して須崎市誕生	・「広報すさき」第1号発刊 ・須崎市章制定	・須崎湾が県立自然公園に指定される	・国鉄須崎駅へディーゼルカー乗り入れ	・大阪窯業セメント操業開始	・NHK・RKCテレビ中継局開局	・須崎港が重要港湾に指定される	・市道久通線開通	・鳥坂トンネル開通 ・須崎市庁舎完成



昭和43年11月 須崎市庁舎完成

須崎市 60 年史 1954~1997

2